



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-77

(2025.9.22)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

信用金庫統計担当：西 俊樹

03-5202-7672

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の総資金利鞘

—2024 年度の総資金利鞘は前期比 0.01 ポイント上昇の 0.22%—

ポイント

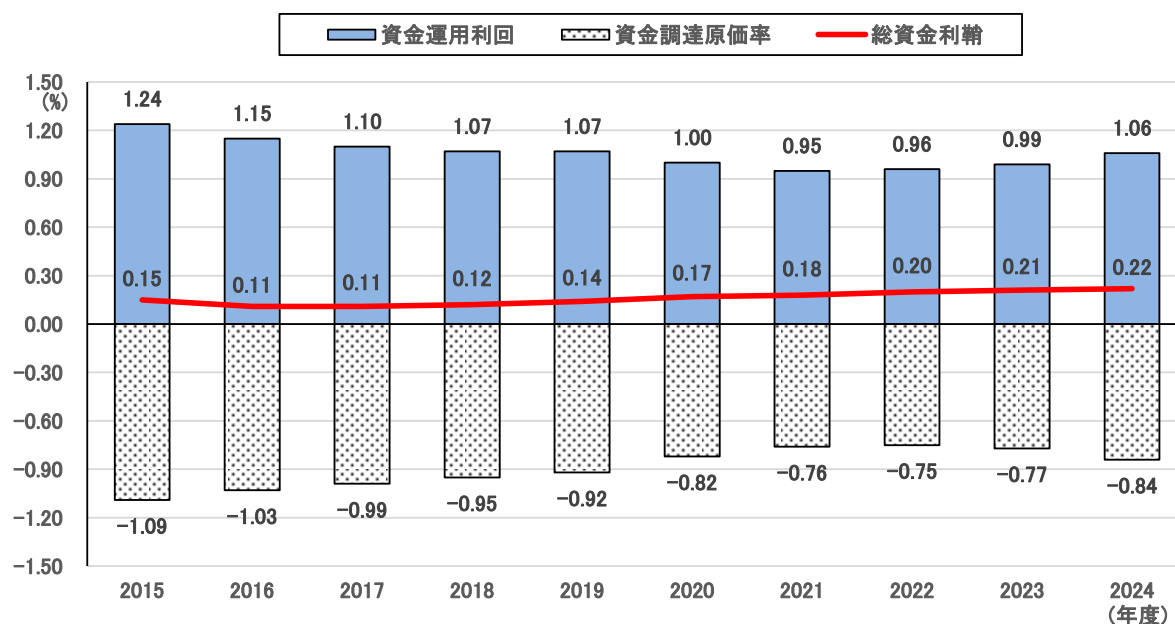
- 2024 年度の全国信用金庫の総資金利鞘（資金運用利回－資金調達原価率）は、前期比 0.01 ポイント上昇の 0.22%となった。
- 業態別では、2024 年度は都市銀行、地方銀行、第二地方銀行の総資金利鞘は低下したが、信用金庫は上昇している。
- 信用金庫別に、総資金利鞘を 2 期間（2020 年度と 2024 年度）で比較したところ、上昇金庫が多くなっている。

1. 総資金利鞘の状況

2024 年度の全国信用金庫の総資金利鞘（資金運用利回－資金調達原価率）は、前期比 0.01 ポイント上昇の 0.22%となった。資金運用利回の上昇幅が資金調達原価率の上昇幅を上回ったことが背景にある。

過去 10 年間における推移をみると、2018 年度以降、総資金利鞘は上昇傾向にある。経費額の減少以上にコロナ禍において預金量が大きく増加したことを背景に、資金運用利回、資金調達原価率いずれも低下傾向を辿っていたが、2023 年度以降は、日銀による政策金利引き上げの影響等もあり、両者とも上昇に転じている（図表 1）。

(図表 1) 総資金利鞘の状況



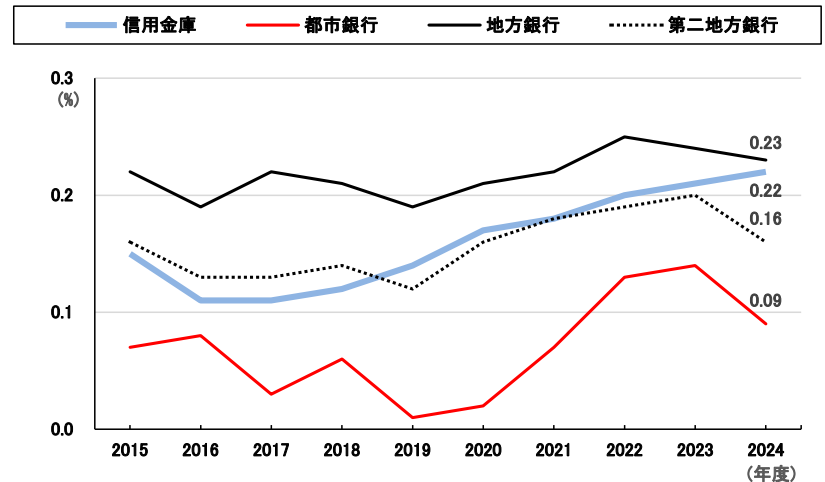
(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 他業態との比較

次に他業態と比較するため、過去 10 年間における総資金利鞘の推移を示す（図表 2）。

他業態とも上昇傾向で推移してきたが、2024 年度は他業態が低下したものの、信用金庫は上昇している。また、信用金庫は、都市銀行、第二地方銀行を上回っており、地方銀行とほぼ同水準にある。

（図表 2）他業態との比較



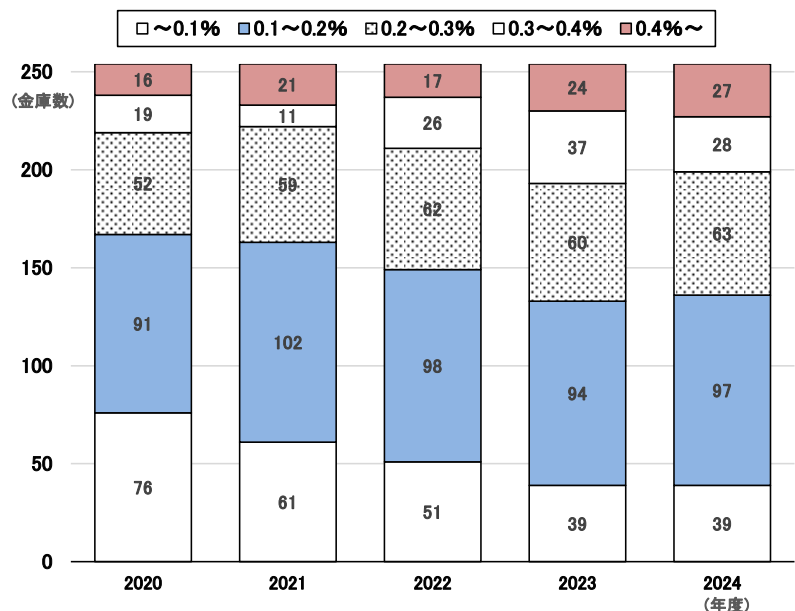
（備考） 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 他業態は全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」より作成

3. 信用金庫別の状況

次に信用金庫別に、最近 5 年間の総資金利鞘の推移を示す（図表 3）。

0.1%以上～0.2%未満の信用金庫数が最多で推移しているが、2024 年度には 0.4%以上の信用金庫数が増加するなど、全体的に上昇傾向にある。また、総資金利鞘を 2 期間（2020 年度と 2024 年度）で比較したところ、上昇 179 金庫、低下 75 金庫となっており、上昇金庫が多い状況となっている。

（図表 3）信用金庫別の状況



（備考） 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

全国信用金庫の総資金利鞘は 2018 年度以降上昇傾向にあるが、信用金庫別の 2 期間（2020 年度と 2024 年度）比較において、上昇に至っていない信用金庫もみられた。

今後、政策金利の引上げが予想されるが、引上げ幅次第で信用金庫の総資金利鞘に与える影響が大きくなることに留意したい。

以 上

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>)に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。